

# 2024.01.19 田中会長が建設工業新聞に年頭のあいさつを投稿しました

(3) 総合 2024年(令和6年)1月19日(金) 日刊 建設工業新聞

(第三種郵便物認可)



## 鳥取県コンクリート診断士会

会長 田中孝志



新年あけましておめでとうございます。

笹子トンネル事故を契機に政府が2013年を「インフラメンテナンス元年」と位置づけてから10年以上が過ぎま

した。この間(これを「フェーズ1」と呼ぶ)、鳥取県内の自治体では橋梁やトンネルなどを5年に一度定期点検を行い、長寿命化計画を策定し、補修が必要な構造物に優先順位をつけて、順次補修等の対策がなされているところです。この「フェーズ1」において我々コンクリート診断士は、各プロセスにおいてコンクリートの専門技術者として重要な役割を担ってまいりました。

一方、一昨年12月には国交省が設置した社会資本メンテナンス戦略小委員会3期提言「フェーズ2」の取り組み方針が示されました。これは複数・広域・多分野のインフラを「群」としてまとめて捉え、総合的かつ多角的な視点から戦略的に地域のインフラをマネジメントするというものです。

この「フェーズ2」においては、計画の対象が橋梁やトンネルなどの特定個別施設ごとではなく、擁壁・斜面保護施設・河川構造物など広く多分野にわたることから、コンクリート診断士の活躍の場は更に広がるものと思います。会員が多様な構成員から成り、広くメンテナンスサイクル(点検・調査～健全度評価・補修設計～補修工事)に携わるといふ当会の特色を生かし、専門技術者の立場で社会貢献を果たしていきたいと考えています。

本年もよろしくお願ひ致します。